



清恵会第2医療専門学院

〔所在地〕〒590 堺市向陵西町 4-214
 〔電話〕0722-22-6226 (代)
 〔交通〕南浦高野線または国鉄阪和線三国ヶ丘駅下車徒歩2分
 〔学科〕理学療法学科 放射線学科1部2部
 〔学生数〕理学療法学科 60名 放射線学科1部80名 (昼間) 2部65名 (夜間)
 〔募集人員〕理学療法学科 20名 放射線学科1部2部ともに30名
 〔倍率〕理学療法学科 5～6倍 (昭和55年度)
 〔修業年限〕3年 (昼間)
 〔卒業生〕本年3月第1期生 16名

特色・校風・モット

本学院は有名な仁徳御陵の西に位置する。医療法人最初の理学療法士養成校として昭和52年4月開校する。

本学院は医療・看護 (清恵会医療専門学院) に関する専門の技術と知識を修得せしめ、その应用能力を養い、あわせて医療看護に必要な人間形成につとめ、優秀な医療技術者を育成し、もって社会福祉に貢献することを使命としている。

病院には本院 (総合病院) 第1分院 (人工腎臓透析センター) 第2分院 (リハビリセンター) 近江温泉病院 (本年6月開院リハビリ専門) と合せて病床数1,080床をもち、学生の実習と臨床講義に活用し、資質の向上と実地教育を行っている。

お互に協調できる点については毎月1回大阪府下養成校協議会を開催し、4校の教務が集って調整し、またそれぞれの学生も共に同一施設で実習を行い研鑽を積んでいる。

今後ますます高齢化する社会に対応するため、技術・知識の向上と共に人を作ると云う事にモットーを置く我が校は、長野県に天竜光洋高校 (全寮制、総長栗栖弘臣) をもち将来は医療短大昇格とともに、一貫した医療技術者の専門校として発展をめざしている。

学院長自身2年前に脳卒中で倒れ、リハビリの重要性を体験し、社会復帰した現在一層関心が強く、先頃出版した「倒れた病院長のリハビリノートから脳卒中克服法」の著書をしているだけに、我々教務も学生の教育と実践に励んでいる。

(理学療法学科 教務主任 岡山 宏)

高知医療学院 (リハビリテーション科)

〔所在地〕〒780-02 高知市長浜東並松 6012-1
 〔電話〕0888-42-0412
 〔学科〕理学療法学科のみ
 〔学生数〕105名
 〔募集人員〕30名
 〔入試倍率〕8倍 (昭和55年度)
 〔修業年数〕3年 (昼間)

本学院は高知の名勝桂浜よりわずか2kmの場所で、前面には黒潮洗う太平洋が遠々と広がる風光明媚な海岸線に面し建設されている。昭和53年に本学院が設立されて以来わずか3年の歴史しかないが、校風として医療従事者として必要な人間性や倫理を日常の学寮生活を通じて身につけさせるべく努力している。学生の大半は高知県外出身であり、そのため学生寮入居者は全体のほぼ9割を占め、寮生活の意義は大きい。寮で寝食を共にし酒を飲み交しながら論議をする……こういう人間関係の中から先輩を敬い、後輩を大切にするという絆が形成され、その中から自然と礼儀・作法が生まれてくるものと

思う。この経験がリハビリテーションに不可欠なチームワーク作りや患者への優しさとなってくれるものと信じている。授業カリキュラムでも医の哲学、医療倫理がとり入れられ、また自然科学に人類学や科学概論が組み入れられ医療人として備えるべく“思考過程”の教授に力を置いている。専門講義の特色は併設病院を利用した臨床教育であり、2年時よりの問診実習や学生3～4名に1名の患者を与え評価・治療プログラム作製という小グループ制授業も行われている。学年の進行と共に、課題を多く与え、図書・文献利用のレポート作成、セミナー形式の授業を重要視し、学生自ら問題点を見つけ、対処していく姿勢を伸ばしてあげたいと考えている。現在1期生である3年生が西日本各地の病院・施設でインターン実習に励んでいる。彼らが学院を巣立ち今後社会の中で何らかの型でリハビリ発展の力となってくれるよう職員一同心から願う次第である。

今後とも皆様方の御支援をお願い致します。

(理学療法学科 教務主任 嶋田智明)